和教時報

2024年５月15日（水）発行　第2009号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みぱん

第89回和教組大会近づく！

6月8日（土）、プラザホープ

みんなで二三年度の運動を総括し、二四年度の方針を検討しよう！

和教組大会が近づいてきました。大会は和教組の最高議決機関で、支部の代議員、専門部の特別代議員で構成し、私たちの運動がどのように前進したか、今年度はどう取り組むか、みんなで論議し確認し合う場です。お手元に届いている議案書をもとに話し合います。

二三年度は、コロナ対策が緩和され組合の行事も再開されました。「未来をひらく教育のつどい（県教研）」をはじめ、各支部でも青年部などを中心にバレーボール大会やモルック大会、講座などが開催され、集まって楽しそうに取り組んでいるみなさんの様子を見ていると、組合が本来の姿を取り戻したように感じました。

県教委交渉では「先読み加配」の対象拡大や、会計年度任用職員の待遇改善など大きな成果がありました。「自分たちのことだから」と職場で次々と仲間を増やした会計年度任用職員のみなさんの活躍に、組合の原点を見る思いでした。

今年は、教員の働き方や処遇について間もなく中教審答申が出され、二五年には法改正が行われる見込みです。中教審は、残業代支給など教職員増員のための仕組みについては頑なに認めようとしていません。多忙解消のためには、軍事費は大幅増額するのに教育予算は切り詰める政府の姿勢を転換させるための大運動が必要です。引き続く物価高騰の中で、地域手当のあり方、高齢層や臨時教職員の賃金改善も重要です。

みんなの論議で運動方針を確立し、和教組の団結を強め、元気に運動を進めていきましょう。

輝いてワンショット

傘を差してウキウキメーデー

（2024 県中央メーデーより）

ピンのスポット 419

今年度、三九名の学年を受け持ち、二〇名の生徒を担任しています。授業中での生徒の様子を把握することができる人数であり、スムーズにスタートをきれました。一方、教科指導において、他学年の三三名の単学級も指導していますが、依然、名簿や座席表を片手に、生徒理解のために悪戦苦闘しています。子どもたちの授業でのつまずきを防ぐために、チームティーチングを導入しています。全校生徒八名の学校から異動してきたせいかもしれませんが、もはや三五人学級では、人数が多いことを実感しました。生徒一人ひとりの課題を解決するために、教職員と保護者の共同の力で、三〇人学級を実現させる必要性を痛切に感じました。

（K）

第九五回和歌山県中央メーデー

ほかの業種の組合とつながって！

第九五回和歌山県中央メーデーが五月一日、和歌山城西ノ丸広場で開催されました。あいにくの雨の中でしたが、さまざまな業種・団体から三〇〇人を超える組合員が参加しました。参加者らは「非正規労働者への差別をなくそう」、「物価上昇に見合った大幅賃上げ実現を！」と訴え、和歌山城周辺を一時間かけて行進しました。

和歌山県内のいろいろな労働組合で組織する和歌山県地方労働組合評議会の議長でもある和教組武田正利委員長が挨拶を述べ、「非正規労働者の賃金改善、正規化は喫緊の課題」、「大幅賃上げや長時間過密労働の是正」などを要求しました。衆議院三補選での自民党全敗にも触れ、「裏金問題への明確な審判」と指摘し、企業・団体献金の禁止などを求めるとともに、「防衛予算を削り、能登半島の復興支援や社会保障の拡充に回す」ようにも訴えました。

教職員組合だけでなく、多くの組合が一緒に訴えることで世の中の風潮が変わり、賃上げが実現しています。改めて組合の大切さを感じることができます。

メーデー初参加の医療労働者（二一）の方は「政治に興味が出てきました。選挙に行かないといけない！」と話していました。

教育連合総会学習会

教員の長時間勤務問題をどうしたらよいのか

夢ある学校作りをめざして

教育連合では「教員の長時間勤務に歯止めをかけ、豊かな学校教育を実現するための全国署名」（通称歯止め署名）の呼びかけ人である日本大学教授の広田照幸氏を講師に招いて学習会を行いました。

広田氏は、今の教員の長時間勤務の問題点を教職調整額四％で「定額働かせ放題」になっている教員の勤務実態は、小学校なら本給の四六・九％、中学校なら五一・〇％の残業代が必要になり、いま議論されている教職調整額一〇％では支払われない超勤が大きく残ることになると指摘されました。

また教育改革時に教職員定数の考え方を大きく変える必要があったにもかかわらず、加配でごまかし続けてきました。

さらに週休二日制の導入、カリキュラムの過密化がすすめられ、教職員定数が改善されないのに持ち時間数が増え今のような教員の長時間勤務の実態が作り出されてきたと指摘し、現在の小手先の働き方改革では長時間労働は改善されず、教員を増やして授業の持ち時間数を減らすことこそ解決の唯一の道と強調されました。

最後に広田氏は「面白い授業や学校行事を準備するのには膨大な時間がかかる。そもそも面白い着想に至るためには、幅広く学んでおいたりする必要がある。それには時間の余裕がないといけない」と教員に時間の余裕がないとよい教育ができないことも語られていました。

祝！77歳 Happy Birthday 憲法

五月三日の憲法記念日に和歌山市の西の丸広場で「Happy Birthday 憲法集会２０２４」が五年ぶりに開催され、五月晴れのもと、約千人が参加しました。この集会は、弁護士九条の会をはじめ、「憲法九条を守るわかやま県民の会」など、多くの団体・個人で実行委員会を立ち上げ、準備を進めてきました。

ステージ企画では、憲法や平和への思いを込めた歌やダンスをはじめ、けん玉や落語なども披露され、子どもたちを対象に「憲法〇×クイズ」も行われました。和教組は子ども向け企画として「プラバン屋さん」を出店しました。川口書記長・山崎書記次長が約五時間にわたって奮闘し、たくさんの子どもたちが自分だけのアクセサリーづくりを楽しみました。

ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ地区への攻撃など、戦争で多くの命が失われている中、岸田自公政権は、敵基地攻撃能力の保有のため、アメリカからミサイルなどの武器を爆買いするなど、大軍拡の政策をすすめていますが、軍事対軍事で決して平和は守れません。この集会では、みんなで、今年で七七歳を迎える「日本国憲法」をお祝いするだけでなく、憲法の大切さを再認識し、これからも守っていく決意を固め合うことができました。

新しい県教育会館の愛称を考えてください

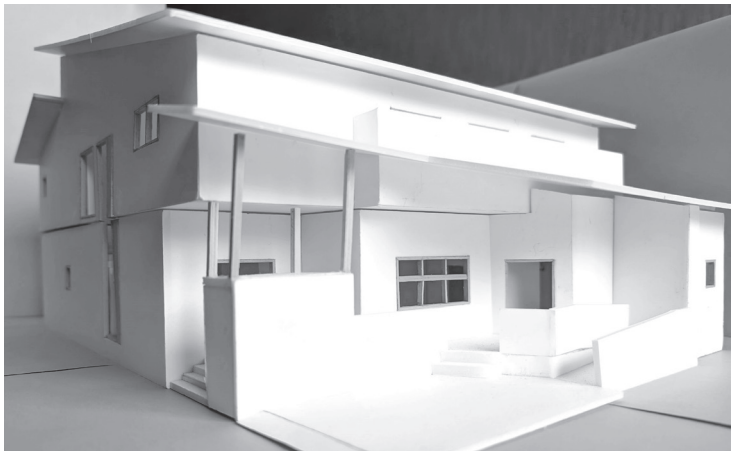
県教育会館の老朽化のため、新しい教育会館の建設を進めています。昨年六月に自治会館北側に用地を取得し、今年四月の入札の結果、(株)小池組と建築契約を結びました。

用地には古家が残されており、五月からその撤去工事が始まっています。完成は二〇二五年一月の予定です。

新教育会館は、木造二階建て、延べ床面積四五五㎡で、和教組本部書記局と和教共済など事業センターが移転し、会議室も設けます。

現在、この新教育会館の愛称（通称名）を募集しています。現教育会館も当面は関係団体に貸し出すために、現教育会館と似た名称だと混乱が予想されますので、みなさんに考えて頂いた愛称を日常的に使用します。

応募については左記のとおりです。すてきな愛称をぜひご応募ください。



（完成予定図）

1、応募期間　　2024年５月７日～８月31日
2、対 象 者　　和教組組合員
3、応募方法
①速報№３-②に同封した用紙で和教組本部にファックス、郵送等で送付
②下記の二次元コードから専用フォームで応募
4、選考と発表
選考は秋に開催する「新教育会館建設委員会」で行い、採用された方の支部、分会名、氏名および名称等を、和教時報で発表します
5、表彰と賞品
・2025年度の支部大会で表彰し、賞品を贈ります
・応募された方全員に参加賞を贈呈します

もう一度行きたい

あんなトコ こんなトコ ええトコ

2

北の大地「北海道の十勝・帯広地方」

伊都支部　城山小分会　児玉　規代美

初めて北海道を知ったのは、地図に興味をもった小学四年生。北海道に憧れました。大人になりようやく北海道の地に足を踏み入れ、函館、小樽、札幌、美瑛、富良野、旭川、層雲峡からの摩周湖、阿寒湖、網走、知床、釧路へと出かけました。七月の花の季節のラベンダーは丘全体にうねる淡い紫色のじゅうたんが美しい。

北海道は、見所がたくさんありますが、ここ数年で十勝・帯広地方の魅力を知りました。十勝・帯広と言えば、幸福駅、モール温泉、ばんえい競馬、六花亭、豚丼、一面に広がる小豆や小麦の畑。十勝管内の食料自給率（カロリーベース）は一一七〇％です（フードバレーとかち推進協議会二〇二二年産農畜産物）。日本全国の食料自給率三八％と比較すると驚きです。道ばたに積まれたビート、クルミの木を駆け上るかわいいエゾリス、畑で餌をあさる白鳥、大空を舞う丹頂鶴、ジュエリーアイス。ますます十勝・帯広を知りたくなりました。日本唯一のばんえい競馬は、四五〇キログラムもある重いそりをひく競技です。馬たちは、障害物の丘を越えるために一度立ち止まり、力を蓄え重いそりとの駆け引きをして決心したときに最後の丘を越えます。

北海道に行くと季節の差を感じます。五月の桜、八月下旬には晩秋の寒さ。真冬は毎日が氷点下。最近の北海道は、五月に日本で一番暑い地域になるのが気がかりです。四国が四つ入る大きさの北海道。まだ知らない土地があります。また、いつか北の大地に行ってみたいと思います。

全教共済2024年度募集中

ますます充実！ この機会に保険の見直しを！

生命共済　火災共済
医療共済　傷害共済
医療共済終身タイプ

あなたをひとりにしません

共済期間
2024 8/1 ▶ 2025 7/31

申込み〆切 6/24

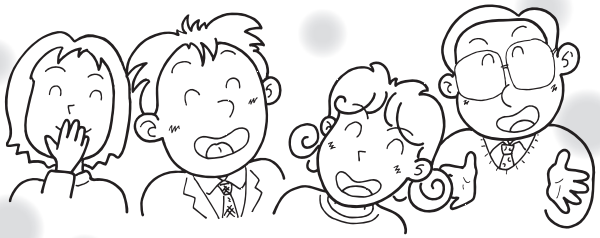
加入及びお問い合わせは和教組各支部まで

資料請求はこちらから

和歌山県教職員共済会　〒640-8269 和歌山市小松原3-20（教育会館1F）
TEL073-436-7860　FAX073-436-8688

安心と信頼

教職員のための
『教弘保険』



（公財）日本教育公務員弘済会　和歌山支部
共済事業（提携保険事業）提携保険会社：ジブラルタ生命保険（株）

■和歌山第一営業所　073-421-8250　■和歌山第二営業所　073-421-8250　■和歌山第四営業所　073-421-8250
■橋本営業所　0736-33-1620　■田辺営業所　0739-22-5751　■新宮営業所　0735-22-0101